

## 第2 洞爺湖有珠火山マイスターとは

### 1. 洞爺湖有珠火山マイスターに期待する役割

#### (1) 期待する役割

洞爺湖有珠火山マイスターには、洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性についてしっかりと学び、正しい知識、噴火の記憶や災害を軽減する知恵、経験などを、次世代や地域内外の方々に向けて自らの言葉で語り継いでいく役割を期待しています。いわば、知識や経験などを生きた形で伝えていく「学びと伝えの実践者」といえます。

#### (2) 考えられる活躍イメージ

「学びと伝えの実践者」といえる洞爺湖有珠火山マイスターの活動は、防災面、観光面など、次に例示するようなさまざまな場面が考えられます。

##### ① 防災面

- ア 地域の防災活動に対する助言・協力や、防災講演会などの講師
- イ 地元で開催される登山学習会や子ども向け火山学習会などの講師やサポート
- ウ 有珠火山防災会議協議会と連携した、立ち入り規制区域内での防災教育

##### ② 観光面

- ア より学びたい者の知的好奇心を満たしたり、体験型修学旅行に対応した質の高い火山ガイド
- イ エコミュージアム構想やジオパーク推進に係る地域活動の担い手
- ウ 有珠火山に関する魅力を正しく発信するための観光パンフや施設の案内板の改善、助言

### 2. 洞爺湖有珠火山マイスターに期待する能力

洞爺湖有珠火山マイスターとは、洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性について正しく理解し、地域に貢献しようとする熱意や行動力、この地域と有珠火山との共生についての理想や考え、常に知識や技術を高めようとする向上心を持って、次なる噴火に備えた地域防災のリーダーとなりうる者です。豊富な知識や経験に基づいて適切に、誇りを持って活動することが期待され、さらに、知識や経験などを生きた形で伝える実践的能力も求められます。具体的には、次の(1)～(3)に示す資質、知識、技能が期待されます。

なお、「洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性」とは、洞爺湖や有珠山のおいたちや有珠山の火山活動に関することのほか、有珠山を含む洞爺湖周辺地域の動植物に関することを含みます。

#### (1) 次なる噴火に備えた地域防災のリーダーになる意欲や熱意の持ち主であること

- ① この地域に貢献しようとする熱意や行動力を持っている者であること。

有珠火山や地域の自然について正しく伝える活動などを通じて、近い将来、再び直面するはずの噴火災害の減災やこの地域の観光振興に貢献しようとする熱意や行動力があること。

- ② この地域と有珠火山との共生についての理想・考えを自ら持っている者であること。

有珠火山との共生の方策やそのために果たすべき役割などについての理想や考えを自ら持っていること。

- ③ 知識や技術を高めようとする向上心を持っている者であること。

有珠火山や地域の自然についての知識とガイド技術・能力をより高めるため、自ら学習しトレーニングに精進しようとする意欲を持ち続けていること。

- ④ 有珠火山や地域との関わりの経験や体験がある者であること。

地域の登山学習会などへの参加や火山ガイド経験、語り継ぐべき貴重な噴火災害の体験など有珠火山や地域との関わりが豊富であること。

## (2) 洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性について正しく理解し、伝えることができる者であること

- ① 洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性について正しく理解している者であること。

ア 洞爺湖や有珠山のおいたちや特徴

洞爺湖や有珠山の地形・生い立ち、他の火山と比較した有珠山の特徴などについて理解していること。

イ 有珠山の噴火の仕組みと噴火の歴史

噴火の仕組みや噴火の経緯・歴史、有珠山に特徴的な噴火や関連現象としての火山灰・軽石、火砕流・火砕サージ、溶岩ドーム、火山ガス、地熱活動、泥流、地殻変動、火山体崩壊、岩屑なだれ、火口などの用語やミマツダイヤグラムなどについて理解していること。

ウ 有珠山の火山活動による恵みとそれを活用した取り組み

有珠山の火山活動による恵み（温泉・観光、恵まれた土壌・漁場、地下水）について理解していること。

エコミュージアム構想やジオパークの取り組みについて理解していること。

エ 洞爺湖や有珠火山地域の動植物など

この地域の動植物に関する基礎的知識、噴火後の植生回復の状況などについて理解していること。

オ 2000年噴火について

2000年噴火のあらまし、噴火後の建物・道路・人々の暮らしの変化について理解していること。

カ 次の噴火に備えた取り組み

有珠山火山防災マップ、観測体制、火山防災の情報、避難の心得、避難先での生活、安全なまちづくりなどについて理解し、火山と共生する心構えを持っていること。

- ② 野外活動に関する基礎的な知識を身につけている者であること。

ア 自然への理解・配慮、関連法令等

登山行動などで考えられる自然環境への悪影響などを知り、自然を適切に保全し利用するためのマナーやモラルについて理解していること。

この地域での野外活動に必要な自然公園法等の関連法令等の概要について理解していること。

イ リスクマネジメント

火山に特有な地熱帯をはじめ、危険な動物（シカ、キツネ）・昆虫（スズメバチ、クモ）、自然現象（落雷、落石）など、野外活動に伴う様々な危険の発生要因と対応方法について理解していること。

ウ 野外安全行動に関する知識

気温と高度、体感温度、気象変化の特徴など、野外で安全に行動するための気象に関する基礎的事項を理解していること。

エ ガイド技術に関する知識

参加者に応じた対応やコミュニケーションのあり方などについて理解し、わかりやすく説明する基本話法などに関する知識を身につけていること。

**(3) 洞爺湖や有珠火山地域でのフィールド活動を実践するために必要な技術を身につけている者であること**

① 洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性に関する正確な説明

洞爺湖や有珠火山地域の自然や特性について、現地で正確に説明できること。

② 気候や気象条件、参加者の特徴に対応した行動

天候の変化による行程の変更や、参加者の年齢・性別に応じた歩行速度の調節方法などを身につけていること。

③ 参加者の特徴に対応した説明内容の組み立て

参加者の参加目的、年齢、この地域との関わりの度合いなどに応じて、工夫して説明内容を組み立てることができること。